

# しほこの樹

## 会報誌 第13号 (2018年7月)

### 【村松志保子と助産師顕彰会】

村松志保子は、明治・大正時代に医術の研鑽を深め産婆となり産婆育成に尽力し母子のために保健福祉的な慈善活動を展開されました。当会では、助産師（産婆）として、博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上のために活躍した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を現在実施している助産師、あるいは、過去に活躍した助産師（産婆）を表彰しています。そして、村松志保子の志を継承した活動を通じて地域社会に貢献することを目指しています。

## 平成29年度 第21回 村松志保子助産師顕彰会式典

会場：墨田区役所「リバーサイドホール」

日時：平成29年7月9日土曜日

#### <ご来賓>

- 山本 亨 様 墨田区 区長
- 山本詩子 様 公益社団法人日本助産師会 会長
- 石川房子 様 一般社団法人桶谷式乳房管理法研鑽会会長(代理)

#### <平成29年度 第21回 村松志保子賞等表彰者>

##### 村松志保子賞（3件）

- 大塚ヨシ 様 (地域母子保健への貢献)
- 岡本喜代子 様 (日本助産師会への貢献)
- 齋藤美恵子 様 (母乳育児支援)
- 菅原サキ子 様 (地域母子保健への貢献)
- 野原文子 様 (母乳育児支援)
- 檜原浅子 様 (地域母子保健への貢献)
- 三浦加代子 様 (地域母子保健、助産師教育への貢献)
- 山口みちる 様 (地域母子保健への貢献)



##### 特別賞（4件）

- 一般社団法人熊本県助産師会 様 (熊本地震災害の母子支援)
- 健康科学大学産前産後ケアセンター 様 (母子保健への貢献)
- 故 佐々木真理 様 (地域母子保健への貢献)
- 故 山川初尾 様 (地域母子保健への貢献)

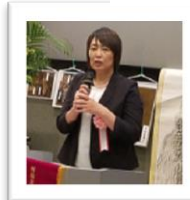
##### 績助賞

(該当者なし)

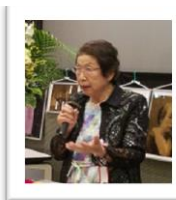
##### 感謝状（2件）

- 赤ちゃん歯科ネットワーク 様 (母子保健への貢献)
- 認定NPO法人郡山ベップ子育てネットワーク 様 (子育て支援)

#### <特別講演者のみなさま>



<小島さま>



<山口さま>



<石田さま>

### 特別講演（要約）

#### 記念講演1 「産後ケアの実情と課題」 健康科学大学産前産後ケアセンター副センター長：小島 由美 様

官民協働の2016年1月からスタートした「健康科学大学産前産後ケアセンター（通称：ママの里）」について、センターの事業内容、特徴、利用状況、また今後の課題などを含めてのお話しでした。母子への切れ目のない、またよりよい支援のための体制づくり、関わるスタッフの皆さまの努力の日々がうかがわれた。「いつでも見学できるので機会があればお越しいただきたい」とおっしゃってくださった。石和温泉街にあり

#### 記念講演2 「助産師として大切にしてきたこと」 山口助産院：山口 みちる 様

助産婦の技は先人たちから伝承され、それを私たちは継承していく義務と責任があり、伝承された技を実践、考察、理論づけの繰り返し改革をしてきたことが今日の業であるとお話しされた。先輩のしたことに敬意を表し、人に対しての恩や義理があって今日の私があるというという気持ちになれば自然に礼はつくせるもの、それを次の世代に伝えていかなければいけない。「私は情けの深い助産婦になりたいと努力している。助産婦になり、本当によかった。こんないい仕事はないと自負している。」という言葉が印象に残った。助産婦魂ここにあり！

#### 記念講演3 「何故歯科が助産師さんを求めるの？」 赤ちゃん歯科ネットワーク 児歯科医師：石田 房枝 様

長年小児歯科診療を実践されてきた先生が、神戸にある病院の訪問をきっかけに、10年くらい前から仲間の歯科医師の先生方と赤ちゃんについて学ばれていらした経緯や、母子フィジカルサポート研究会の助産師吉田敦子氏と出会いから助産師との関係が広がったこと、また胎児期からの赤ちゃんの姿勢や成長発育と口腔機能の発達発育の関係性についてなどご自身の研究内容も含めお話しくださった。「赤ちゃん歯科の一番の仲間は助産師と思っている」とのお言葉に、私たちも赤ちゃんの口腔の発達発育について学ぶ必要性を感じた。



# 安産福運大祭「母子と助産師の日」

## 平成30年3月8日 記念イベント



“日本で唯一の産婆乳母の祖神” 愛媛県に所在する高忍日賣神社にて開催

私たち助産師は、出産や子ども虐待、大災害等で失われた母子の生命に対して、深い哀悼の意を表し、また、母子とご家族や女性のリプロヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の支援活動を生涯実践した先輩助産師の遺功を偲び、ここに、敬意と感謝の意を捧げます。

そして、私たちは3月8日を「母子と助産師の日」と定め毎年この地に集い、世界中の全ての母子と家族に幸福が、また世界中に平和が到来することを心から願って祈りを捧げています。

### ～2018年3月8日プログラム～

#### ◆午前の部（10:00～11:45）徳丸老人憩いの家（高忍日賣神社の隣の集会所）

総合司会：黒田優子（日本助産師会理事） シンポジウム司会：岡本喜代子（東京都助産師会館理事長）

テーマ：「産婆・助産婦の歴史への接近」

1. 社会学の視点から 大出春江先生 大妻女子大学教授
2. 文化人類学の視点から 松岡悦子先生 奈良女子大学教授
3. 民俗学の視点から 伊賀みどり先生 帝京平成大学非常勤講師

フロアー発言：阿部奈緒美氏（奈良女子大学博士課程学生）

意見交換：交流会（昼食）

助産師の何でも相談（妊娠・出産・不妊・母乳・育児・産後・更年期など）

#### ◆午後の部（14:00～15:30）高忍日賣神社

安産福運大祭 斎行：お祈りとお話（宮司の後藤正宜様）

記念撮影



今年も愛媛県の  
マスコット  
みきゃんちゃんが  
きてくれました！

### 「産婆・助産婦の歴史への接近」（概要）

午前の部

#### 1. 社会学の視点から 大出春江先生 大妻女子大学教授

義理のお母様の助産所でお子さまを出産。それまでは助産所についての知識はあまり豊富ではなかったとのこと。村松志保子が設立した明治25年の安生堂産院など、当初、産院の社会的目的は貧困層の救済という社会事業的意義があったが、徐々に貧困層以外の女性の出産へと拡大した。

昭和23年医療法に「助産所」が登場し児童福祉法に「助産施設」が登場し「産院」という言葉は消失した。助産所と助産施設は区別がつきにくく、本来あった「産院」こそ、最もわかりやすい名称ではなかっただろうか。



大出さま

#### 2. 文化人類学の視点から 松岡悦子先生 奈良女子大学教授

女性があまり力を持っていなかった戦前であっても、多くの産婆が組織を作り、業権の確立と地位を高めるために「産婆法」制定運動に力を入れた。その運動は、大阪の産婆たちから始まり、全国の産婆会が連帯して産婆法を作ろうとした。

大正15年には「産婆（師）法」を通すことを大きな目標に掲げ、大阪の産婆と東京の柘植アイ氏と岩崎なお氏が大本産婆会を設立した。結局「産婆（産師）法」案は通らず幻の法となったが歴史を知ることで、現在の助産師会や現在のアジアの国々と比較することができる。



松岡さま

#### 3. 民俗学の視点から 伊賀みどり先生 帝京平成大学非常勤講師

昭和時代までの助産師に関する資料の収集・保存・活用に関し、各県の助産師会から助産録や器具などを借りデジタル化して保存し、後世へ伝えたいと考えている。

国立歴史民俗博物館所蔵の「間宮うら助産院資料」の点数は数千点に及び、量・質とも第一級資料で、昭和20年代からの出産についてよくわかる資料が残してある。助産や受胎調節指導の方法とその変遷から、妊娠・出産・避妊などをめぐる民族・文化を知ることができる。助産学・産婦人科学・母子保健学などの視点からの研究にも役立つ。



伊賀さま

#### フロアー発言：阿部奈緒美氏（奈良女子大学博士課程学生）

戦前のお母様の産婆たちが、産婆法（産師法）制定運動を始めた。大阪市産婆会は「婦人自治」の組織であり、大阪市産婆会は自前の産婆会館と産院経営していた。大阪市産婆会の二大巨頭は山本柳氏と三宅コタミ氏であった。エリートで人望があり、自己研鑽を怠らず、産婆の今とこれからのために労をいとわない利他的な部分を持ち、肝（きも）が据わっていた二人であった。



阿部さま



## 参加者アンケート（感想を一部ご紹介）

“産婆”時代から助産師が社会的にどのような立場であったかと、地位を確立するためにどのような動きがあったか、今まで知らなかった歴史のことに学ぶことができた。産院の歴史に関して当時の産院の目的やその後の活動、対象の拡大といった変遷や「助産所」「助産施設」の捉え方の混乱についても初めて知ることができ、貴重な体験ができた。

現在の「助産師」がここまでの地位なるまでには今までの産婆の方々か立ち上がり、声を上げたことによるものであると考える。それらの事実と助産師としての誇りを持って仕事をしていきたい。

助産師や助産施設などについて社会学、民俗学視点から研究者の話を聴いたことはとても貴重だった。また資料や記録の大切さについて改めて実感した。

初めて知ることが多く興味深かった。もともと産院の目的が貧困層の救済であることに驚いた。戦前の産婆たちがどのような活動をしていたのかを知れた。

今回の話の全体から私が目指している助産師には大きな歴史や背景があり、すばらしい職業なんだと思った。

～みなさま貴重なご感想をありがとうございました～

## \*\*\* 安産福運大祭 \*\*\*

午後の部

午後は高忍日賣神社において  
静寂の中、高忍日賣様にお祈りをささげる厳かな神事がとりおこなわれました。  
今年の安産福運大祭には約100名もの大勢の方がご参拝されました。



安産福運大祭終了後の記念撮影



毎年 愛媛助産師会の  
皆さまから  
多大なるご協力を  
いただいております。  
愛媛助産師会のHPからも  
「母子と助産師の日」の  
イベント写真がダウンロード  
できますよ～☆

♡ひめじょ（愛媛助産師会）の皆さま♡

# お知らせ

## \*平成30年度 第22回 村松志保子助産師顕彰会通常総会及び表彰式典

日時：平成30年7月8日（日）13:30～15:30（13:00より受付）

場所：すみだりパークサイドホール1階ミニシアター（墨田区役所1階）

内容：午前中に総会・午後より式典（表彰式、記念講演、写真撮影）

※表彰者（村松志保子賞10名 特別賞3団体 精励賞3名 感謝状3名）



## \*お墓参り日程

平成31年1月中旬頃（決まり次第HPに掲載いたします。）

①村松志保子先生のお墓参り ②回向院 ③柘植アイ先生のお墓参り

※日程の変更の可能性があります。参加ご希望の方は、一週間前に下記顕彰会事務局まで確認のお問い合わせをお願いいたします。

## \*平成30年度 第7回「母子と助産師の日」イベント

日時：平成31年3月8日（金）10:00～15:00

場所：愛媛県愛媛県伊予郡松前町大字徳丸387

高忍日賣神社（たかおしひめじんじゃ）

講演：（予定）ICM前会長 Ms. Frances Day-Stirk



## \*高忍日賣神社のトイレ改修協力基金の新設について

毎年お世話になっている高忍日賣神社を参拝されるみなさまのために、トイレを改修の協力をさせていただければということが理事会において決定されました。

顕彰会からは、基本金として10万円を寄付をさせていただくことと

加えて1回 1,000円のご寄附のご協力をお願い申し上げます。

寄付金募集期間は、平成31年2月末日までです。

振込先は下記の会費振込先と同様です。備考欄に「トイレ改修寄付金」と記載してください。

また大変恐縮ですが、振込手数料はご負担となる旨お許しください。



## \*村松志保子助産師顕彰会ホームページを開設しました！

是非アクセスしてみてください。

HPアドレス：<https://www.jyosansikensyokai-m-sihoko.com>

会員パスワード：**MSK126**



★ホームページの、[当会について](#) をクリックして「[会員ページ：会報誌](#)」を開き、パスワードをいれると、[会報誌（しほこの樹）](#)と平成30年「母子と助産師の日」のイベント写真がダウンロードできます。

## 【お願い】

村松志保子助産師顕彰会は、会費や寄付金などで運営しています。より充実した活動を継続していくために、当会の趣旨や活動にご賛同して頂ける会員やご支援の寄付金を広く募っています。

現在ご活躍されている助産師や歴代のお産婆さんなどの情報もご連絡をお待ちしております。また、会報誌「しほこの樹」へのお便りもぜひお寄せください。

## 「村松志保子助産師顕彰会」事務局

### 【お問い合わせ先・入会等について】

「村松志保子助産師顕彰会」事務局

住所：〒192-0914 東京都八王子市片倉町1181-5

電話・FAX：042-635-7117（岡本喜代子）

Eメール：[otafuku-o@nifty.com.jp](mailto:otafuku-o@nifty.com.jp)

### 【会費等振込先】

口座名：村松志保子助産師顕彰会

口座番号：郵便貯金 総合通帳

記号：10040

番号：97136531

入会金：5,000円 年会費：5,000円

